

よしかわ けいすけ

吉川 敬介

国際関係学部 准教授
博士(学術)/学術博士
横浜国立大学

ホームページ URL

なし

主な研究業績

- (1) 単著, 「Problems of Cambodian Economy Seen from Trade and Investment Structure」, 『熊本学園大学 経済論集 第25巻第1-4合併号 PP.187-206』, 2019年3月, 熊本学園大学経済学会.
- (2) 共著, 黄完展: 編著『東アジアにおける中小企業のグローバル展開』(担当: 共著, 範囲: 第7章 カンボジアにおけるグローバル化と中小企業振興). 2016年3月, 九州大学出版会.
- (3) 単著, 「カンボジアの直接投資に関する一考察」, 『九州産業大学 商経論叢 第55巻第2号 PP.95-110』, 2014年11月, 九州産業大学商学会.
- (4) 単著, 「経済協力展開プロセスに見る ASEAN 経済統合—経済協力から経済共同体設立へ—」, 『九州産業大学 商経論叢 第54巻第2号 PP.57-73』, 2013年12月, 九州産業大学商学会.
- (5) 単著, 「カンボジア経済の対外脆弱性—産業構造の偏重とその影響—」, 『九州産業大学 商経論叢 第53巻第3号 PP.173-187』, 2013年3月, 九州産業大学商学会.
- (6) 単著, 「The Role of ASEAN in Economic Development —The Case of Cambodia—」, 『熊本学園大学 経済論集 第17巻第1・2合併号 PP.303-319』, 2011年3月, 熊本学園大学経済学会.
- (7) 単著, 「ASEAN 経済協力の変遷と進展メカニズム—国際情勢と外部提言への対応—」, 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所 博士論文, 2010年10月.
- (8) 単著, 「ASEAN 経済協力の始動要因と ASEAN Way —国際情勢への対応と機構的特殊性—」, 『横浜国際社会科学研究所 第14巻第1・2号 PP.65-80』, 2009年8月, 横浜国際社会科学学会.
- (9) 単著, 「東南アジア地域協力としての ASEAN 設立—設立過程分析と ASEAN 研究の現状—」, 横浜国際社会科学研究所 第10巻第3・4号 PP.117-130』, 2005年10月, 横浜国際社会科学学会.

研究テーマ Research theme

ASEAN 後発加盟国の政治経済と国際情勢への対応

概要 Overview

東南アジア諸国連合 (Association of South-East Asian Nations : ASEAN) は 2017 年で設立 50 周年を迎え、2015 年には ASEAN 共同体 (ASEAN Community; AC) を創設した地域統合体である。その後発加盟国であるカンボジアは、近年、中国資本の流入を背景に経済的活況を享受している。これまでの ASEAN 研究において、機構設立から経済協力、そして経済共同体設立にいたるまで、それらの背景・経緯・要因の解明に関する研究の蓄積は多岐にわたる。しかしながら、ASEAN 諸国と中国との関係ならびに相互影響について取り上げた研究は、東アジア地域包括的経済連携 (Regional Comprehensive Economic Partnership ; RCEP) ならびに ASEAN 中国 FTA (ASEAN-China Free Trade Agreement ; ACFTA) などの視点に依るものに限られている。本研究は、そうした現状を鑑み、後発加盟国を対象として、昨今の東南アジアを取り巻く国際関係が ASEAN 諸国の政治・経済部門にどのような影響をおよぼしているのかについて検証するものである。

特に東南アジア諸国に対し中国の影響力が日に日に増している現状の深刻さをふまえ、特に中国資本への依存度が高い後発加盟国であるカンボジアを対象に、「一帯一路」構想に代表される中国の対外政策が、それらの後発加盟国の政治・経済に対していかなる影響をおよぼしているのか、そしてそれらの現象が ASEAN 全体の歴史の中でどのように捉えるべき事象であるのかについて明らかにする。

また、本研究は RCEP ならびに ACFTA からの視点で影響を分析した既存研究とは異なり、中国の一帯一路構想などの域外要因が ASEAN 後発加盟国の政治経済にいかなる作用をおよぼしてきたのか、個別国に対する直接的な政策影響について明らかにする試みである。すなわち、RCEP・ACFTA に言及はするが、既存研究とは手法もアプローチも大きく異なるものである。よって本研究の成果は、対外的勢力による影響の結果として生ずる可能性のある ASEAN の変容について、その有無だけでなく、その程度や将来像について知る礎として、現状の ASEAN 研究に寄与しうると考えられる。

応用分野 Application areas

- ・ ASEAN 共同体 (ASEAN Community) と地域統合
- ・ ASEAN 経済共同体 (ASEAN Economic Community) と経済統合
- ・ 後発開発途上国における経済開発
- ・ 東南アジア地域の国際関係